【健康経営戦略マップ】

作成年：2026年9月

健康投資

各種健康施策　実施・運営への投資

- 血圧測定機会の創出（測定推進企画など）
- 各種健康施策 実施・運営への投資

多様な健康課題に対応し
安心安全に働ける職場環境の実現への投資

- 重症化予防施策
- 性差・ライフステージに応じた健康支援
- 安全衛生活動における労災防止策の実施
- メンタルヘルスに関する教育機会の提供

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康経営の主要指標
血圧測定率向上	自律的な生活習慣改善行動の定着	・血圧測定率
	自分の健康状態を知り必要な生活習慣改善行動を選択できる	
健康イベント参加率の向上	Boost5挑戦度 維持期・実行期ステージの増加	・Boost5実践者割合
・精密検査受診率の向上 ・特定保健指導実施率の向上 ・総実労働時間数の適正水準維持	・生活習慣病ハイリスク者率の低下 ・特定保健指導完走率の向上	・ワーク・エンゲージメント割合
適切なセルフケア選択のための教育イベント受講率	マイヘルスケア休暇利用率	・プレゼンティーイズム改善
職場巡視・ヒヤリハット報告を通じた潜在リスク発見件数	労働災害／死亡災害件数ゼロの維持	・アブセンティーイズム改善
ラインケア/セルフケア教育研修受講率の維持	・上司・同僚からのサポート度	

目標年：2030年

KGI	健康経営の目標	健康経営の推進方針	経営方針
社員一人ひとりが自身の健康状態を把握し、自律的な健康行動を実践している。 ＜主要指標＞ ① 健康度調査における「自律的な健康行動を実践している社員」の割合：80%以上 ② 血圧コントロール状況の改善 ③ プレゼンティーズム・アブセンティーズム関連指標の改善	自社製品を通じて、自身の健康状態を継続的に把握し、一人ひとりが自分に合った健康行動を**実践することで、疾病リスクの低減と働きがい、生産性向上を実現する**	社員一人ひとりが予防医療を実践し、自社ビジョン「Going for ZERO」を体現できる環境・文化を醸成する。	**「Going for ZERO ～予防医療で世界を健康に～」** OHQが社会に提供する価値は、健康状態を把握し、行動変容につなげる「予防医療」である

社会的価値

企業理念の実践を通じて社会的課題を解決し、持続的な社会づくりに貢献

企業価値

社員一人ひとりの健康の維持・増進と創造性の発揮による 時間当たりのアウトプット(生産性)の向上

従業員の健康課題

①年齢構成の変化に伴い、生活習慣・加齢要因による健康リスクの増大傾向が現れつつあるが、全体として健康状態は良好な水準を維持している。
②多様な健康課題への理解や配慮、健康状態の把握を通じた行動変容を後押しする健康風土のさらなる醸成が必要である。